

ふれあいの輪、さらに広がります

ほのか

HONOKA

1

2026

No.676

JAあまるめ



賀正

<http://www.ja-amarume.or.jp>

JAあまるめ

JAあまるめ

検索



12月11日開催
揚げ所しゃんしゃん 木曜しゃんしゃん塾
【とろふわ餅フレンチトースト】
作り方は14ページを参照ください。



毎週金曜日は
産直コーナーの商品
友の会ポイント10倍

写真はイメージです。入荷状況により商品がかわります。

R7.11.17 令和7年度 山形県ストック品評会



スタンダードストック
(アイアンホワイト)
特別賞 阿部円香さん(廿六木)



スプレースtock
(カルテットローズ上)
(カルテットアブリコット下)
銀賞 工藤豊章さん(長畑)

東京都中央卸売市場板橋市場で開催。71点の出品のうち、当JAから3点が入賞しました！

R7.11.20~22 庄内町 秋のフラワーショー in クラッセ



トルコギキョウ
(フィノライトピンク)
特別賞
工藤豊章さん(長畑)



スプレースtock
(チェリーカルテット)
銀賞
工藤己絵さん(長畑)



スタンダードストック
(ヴィンテージブラウン)
銀賞
阿部美和さん(千河原)



スタンダードストック
(アイアンホワイト)
金賞 阿部円香さん(廿六木)



JAあまるめ

広報ほのか

- 編集と発行/余目町農業協同組合
- 編集責任者/渡会 武司
- 印刷/JA印刷山形
- 令和8年1月

JAあまるめホームページ
<http://www.ja-amarume.or.jp>

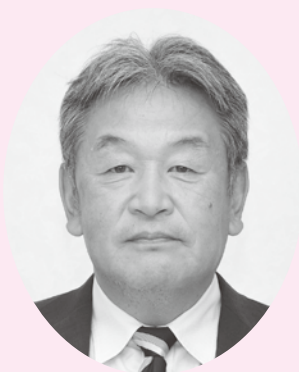
JAあまるめ



農業やJAあまるめのイベント情報などを発信しています。ぜひご登録・ご覧ください。

年頭のごあいさつ

謹んで新年のお慶びを申し上げます



代表理事組合長

佐藤 一彦

明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
令和8年の年頭にあたり、組合員、関係各位には旧年中に賜りましたご理解あるご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年は地球温暖化の影響により、農作物の栽培に苦労することが危惧されました。5月後半には夏を感じる暑さが続き、7月には極端な高温少雨となった中、灌漑用水について関係機関のご尽力、栽培者の節水努力等により稲が枯れる被害は免れました。うるち米の平均収量は[※]10^ル当たり597^キ、一等米比率99.4%と豊作となりました。大豆栽培も白大豆平均収量10^ル当たり244.3^キと近年にない収穫量となりました。常態化する暑い夏を乗り越え豊稔の秋を迎えられたことは、苦勞が報われた年だったと思います。

昨年は、令和6年から続いた「米騒動」の話題が、毎日のようにお茶の間に報道されました。備蓄米放出、作況指数の見直し等前例のない政策変更の判断がなされたにも関わらず、実体のない不安・不信感から米価が過去最高値になったことは、米生産者には一時の安堵感はありませんが将来の経営不安は増大した気がします。

国政では農業構造転換集中対策の具現化、水田農業政策の見直しが審議されるなか、より現場の声が反映される施策確立の訴えと、農家組合員には丁寧な説明に「JAグループ全体で取り組まなくてはなりません。今年はそれら課題に誠心誠意に取り組んでまいります」。

また、昨今の国際情勢を踏まえ、自国の食料は極力自国で賄うことや、食料安全保障を確立する重要性を改めて多くの方が実感したのではないのでしょうか。今後も食を支える農業は、この国に無くてはならない基幹産業である認識を多くの方々に広める必要性があると考えます。そのためには生産基盤拡大を図り持続可能な農業の実現、国民理解の醸成にも努力いたします。

生産者の営農継続と地域農業の振興がJAの使命です。まずは生産振興を第一に考え、将来にわたり安心な農畜産物を消費者にお届けできること、自らも環境変化に柔軟に対応しながら、前例を踏襲するだけではなく、見直すべきは見直したうえで諸課題に取り組む事業を発展させてまいります。

昨年、女性初の高市総理大臣が誕生しました。国のリーダーが代わったことで随分国内外の動きに変化が垣間見えます。高市総理が崇拝する松下幸之助氏の言葉に「失敗することを恐れるよりも真剣でないことを恐れたい」という言葉があります。踏み出す一歩を確かなものにするために役職員一体となった取り組みの実践を今後とも行います。

結びになりますが、本年も引き続きご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げます。

※CEデータより



監事
森屋 慶一



監事
高橋 恵



代表監事
奥山 賢一



理事企画管理部長
渡会 武司



理事信用共済部長
阿部 浩



理事
遠田 雅弘



理事
五十嵐 幸彦



理事
五十嵐 晃



理事
小野寺 姫



理事
中野 智



副組合長
阿部 勝吉

新春号 表紙の紹介



特集

2026 新春メッセージ

新年の抱負



今年の抱負



6年生になったら、好きなこと、努力していることをがんばりたいです。
一つ目は読書です。学年の中でもたくさん読んでいて、少なくとも一週間で20冊以上読んでいます。今年も学年トップで本をたくさん借りて読みたいです。
二つ目は、勉強です。勉強はふだんからがんばっていて、テストは毎回百点は取れないけど平均90点位です。これから円周率やむずかしい漢字、英語などを特



今年の抱負



6年生になってがんばりたい事は、野球と勉強です。
野球では、レギュラーをとれるように練習に取り組みたいです。バッティングでは、打つタイミングがあつていないので、素振りや家でも練習しながらタイミングを合わせたいです。守びでは、足のステップに気をつけて、ゴロやフライを取りたいです。
2つ目の勉強では、先生の話を聞いて苦手な教科をこくふくしたいです。特に算数が苦手で、何度もくり返し復習して問題を読みとる事ができるようにしたいです。
最上級生として、下級生のお手本となる行動をしていけるように、がんばります。



今年の抱負



今年、小学校最上級生になります。妹も2年生となることもあって、下級生のお手本になれるようにがんばりたいと思います。僕が小学校に入ったときにお世話になった上級生の先輩方を出し、下級生に頼られる6年生になれたらと思います。
習い事では、公文に通ってがんばっています。一部の教科は6年生の段階にはいつてきています。今年中には中学生の段階にはいることが目標です。
中学生になることに向け、しっかり一年を過ごしたいと思います。



今年の抱負



私の今年の目標は、書道で五段をとることです。書道教室では、集中して取り組み、様々な書道展に出品し、書道のうで前を上げるようにがんばっています。
一字一字でいいに書くことを心がけているので、とても神経を使いますが、書き上げた時はうれしく、ほこらしい気持ちになります。文字の大切さを常に意識して、書道に限らずふだんから字に心をこめて書きたいと思っています。
最上級生として、他の学年のお手本になるようがんばりたいです。



今年の抱負



私が6年生になって頑張りたいことは三つあります。
一つ目は、苦手な算数を好きになることです。あきらめることが多々あった中でも、楽しさや達成感を感じるときがありました。これからもあきらめないで何事にも挑戦しようと思いました。
二つ目は、読書です。前は苦手だった読書も、宮沢賢治さんの本に出会って少し好きになりました。たくさん読書をしてもっと本が大好きになりたいです。
三つ目は、友達とたくさん遊ぶことです。小学生生活最後なので、残りの一年を最後まで楽しみたいです。友達と遊ぶ機会を、大人になっても記憶に残る大切な思い出にしたいです。



今年の抱負



私は、今年ががんばりたいことが二つあります。
一つ目は、書道です。目標として、昨年優秀賞を受賞できた「人権書道コンテスト」で、今年こそ最優秀賞をとれるようにがんばりたいです。また、「庄内書道展」でも、普通字と大字の2部門で特別賞をめざしたいです。そのために、書道教室でも家でも練習にはげみたいです。
二つ目は勉強です。特に算数が苦手なのでわかりやすいノートを作り、あとからしっかり復習して、得意になりたいです。
最後に、6年生は最上級生になるので、下級生のお手本となるように努力していききたいです。

はじめに

●佐藤組合長

新春を迎えるにあたり、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。新春座談会の大きなテーマとしては「米の情勢」があります。「令和の米騒動」から始まり、生産者のみならず消費者、国民全体が関心を持っています。令和7年産は幸いにも作柄も良く、農業者にとって恵まれた年になったことについては、一息つけた年となったのではないかと思います。変化する農業情勢ではありますが、今後を見据えた考えをお聞きできればと考えています。それぞれの立場において、個々の農業経営、管内の方、向性などについて、考えをお聞きできればと思います。まずは自己紹介をよろしくお願いします。



佐藤一彦 組合長

●佐藤啓一さん

年々経営面積が増加しています。令和7年は12畝ほど、米、赤かぶ、花の複合経営です。父、妻、小学生の息子2人という家族構成で、休日は子供たちにも農作業を手伝ってもらいながら、家族経営をしています。

●日下部愛美さん

私も慣行栽培米への追肥や、圃場の水交換に気を配りましたが、次作への課題も感じているところです。

●佐藤組合長

令和5年、6年と高温が続き品質・収量ともに低下したことを受け、営農指導でも考え方を更新しながら7年の指導を行いました。集落内での水管理についての話し合いや充分な穂肥の指導により健全な稲体の確保、収量の確保につながりました。

●佐藤啓一さん

春・秋ともに圃場差が大きかったと思います。排水性が悪いところでは悪影響が出ており、圃場の選定が大切と感じました。排水性を上げながら収量を確保することが今後の課題だと思っています。



●佐藤組合長

余目の赤かぶは播種オペレーターのスキルや適正施肥の基準の高さについて、部会の歴史をしっかりと積み重ねていることを感じます。ぜひ今後とも期待したいと思っています。枝豆はどうですか。

●日下部耕平さん

17畝に主食用米、飼料用米、枝豆(あんちゃ豆)、軟白ねぎを作付けしています。父、母、私をメインに、農繁期には兄と妹に手伝ってもらっています。

●日下部愛美さん

11畝に水稲、赤かぶを作付けし、ドローン防除受託を経営の中心としています。家族構成は私、夫、娘、祖父、祖母で、農業は基本夫婦でまかっています。

●佐藤組合長

管内における令和7年産米の作柄は良好と整理していますが、皆さんの実態・実感としてどのようなお考えですか。

●日下部耕平さん

全体的に収量も良く満足しています。その中でも早生品種ほど増収しました。単価も良く満足していました。

●佐藤啓一さん

CE平均程度の収量は確保できており、令和6年産と比べては、満足しています。

●佐藤組合長

CE平均収量では令和7年産はえぬきで613kg/10^アとなり、令和6年産プラス100kgの結果となりました。皆さんの努力の甲斐があつたことと思います。平均値という基準では、個別には幅広い収量差がある中でこれだけの実績となり、本当に良かったと思います。

●日下部耕平さん

枝豆については、春先の天候不順で播種が遅れましたが、その後持ち直しました。夏場の渇水もあり、心配していましたが、水稲と同様に集落内の理解協力により水の確保もでき、収量の確保につながりました。単価も充分だったため、恵まれた年になりました。

●佐藤組合長

あんちゃ豆についても順調にファンが増えており今後も期待したいと思っています。令和6年度の豪雨で甚大な影響を受けており、生産者の確保が難しいのが現状です。

●日下部愛美さん

個々の面積拡大により園芸特産に向けた余裕の確保が課題です。令和6年の豪雨で受けた影響もあり、ねぎなどの園芸作物栽培に慎重になっています。

●佐藤組合長

管内の生産戸数はおよそ160戸。平均は9畝ほど。個々の面積拡大により、余裕の確保に苦心しており園芸に向ける力については課題が多いと整理しています。

米価の急騰について

●佐藤組合長

米価が急騰し収入増につながりました。現状についての想いを教えてください。

●日下部愛美さん

高すぎる価格に違和感があり、消費者の米

●日下部愛美さん

当初、茎数の確保ができず不安でしたが、結果としては収量を確保できて、稲刈り作業が楽しかったです。

●佐藤組合長

管内の傾向として、春先の低温で茎数が不足している傾向が見えました。また、昨年、一昨年も高温下での栽培となりましたし、今夏は高温に加え水不足の不安が重なりました。その中で皆さんの工夫を教えてください。

●日下部耕平さん

集落内でも水不足の認識が強まり、過去の経験を踏まえ話し合いを行い、皆さんの協力のおかげで、順調に水を確保できました。高温下での湛水が稲体に悪影響だという認識のもと、高温障害の予防に努めたところです。大豆や枝豆圃場への入水なども集落内の理解と協力によって十分に水は確保できました。

●佐藤啓一さん

水に関しては例年通り確保できたと思います。また、CE利用組合内では高温で消耗した稲体に十分な穂肥を施したという声も多く聞かれ、高温対策が定着しつつあるのかなと感じます。



日下部耕平さん

離れを心配しています。と言いつつも、高齢農業者は機械の破損が離農するきっかけとなつてしまっている現状です。後継ぎを考えると一定の収入確保が必要と考えています。次の世代に続いていける情勢であつて欲しいと思います。

●日下部耕平さん

売り手が不安になるくらいの高値。一定の金額での売渡を期待しますが、令和8年産米価格の暴落は心配要因です。鈴木農林水産大臣の手腕に期待しています。

●佐藤啓一さん

これまで我慢していた設備投資ができるようになったと実感しています。機械や動力光熱費、肥料農薬など、生産費の高騰を考えると、農家経営を続ける上で一定程度は求めたい。高価なコンバインも、実質消耗品であり、それをどう維持整備しながら、どう更新をして生産体制を整えていくか計画できる米価が鍵だと思います。需要に対しての米価の落ち着き方をみて計画していきたいと思っています。

●佐藤組合長

令和の米騒動の中で、米価だけでなく後継者不足や農業の大変さも一緒に報道されており、消費者の理解のきっかけになっている点については良かったと思います。生産費を賄える米価という面は、肥料高騰対策補助金などのつなぎ対策だった経過が、抜本的な再考のきっかけになれば良いと思います。再生産が難しい米価では若手農家が増え

ないという認識です。皆さんの中でどういう米価が適正と考えますか。概算金3万円の現状で4200円/5kgの店頭価格、仮に2・5万円だった場合3400円/5kgが目安となるようです。消費者に理解してもらえる価格の醸成は農政運動で働きかけしていくことが大切ではないかと思いますが、どうでしょうか。

● 日下部耕平さん

インフレも考慮すると、明確に概算金何万円が良いという適正価格の提示は難しいです。ただ、規模拡大や再生産ができる価格、という訴えはしていきたいと思っています。

● 佐藤組合長

消費者と生産者がお互いに歩み寄ることが大切だと思いますがどうか。令和9年度からの抜本的な農政の見直しについては注視していきたいし、農政運動で訴えていきたい。

● 佐藤啓一さん

将来的に考えて、農家戸数が減少し、耕作面積を確実にこなせる農家が重要になってきます。消費者あつての生産者意欲になるので、消費者とのつながりを大切にしていきたい。

● 日下部愛美さん

小規模農家が離農し、30年後の農業者人口に不安です。どうやって農地を守っていくかを考えると新規就農者への応援は大切だと思います。



日下部愛美さん

● 佐藤啓一さん

集落営農の形を取っても、新規参入者が来ないというのが現状のようです。後継者の確保・人手の確保が重要だと思います。地域ごとに農業法人や受託組織などがあってもいいのではないかと思います。

● 日下部愛美さん

農業収入がある程度安定し、魅力ある仕事として将来の子供たちのなりたい職業、親が就かせたい職業となつてほしい。地域の子供たちの誰かが就いてくれたら嬉しいと思います。

● 佐藤組合長

中学生のアンケート結果で8割が地元に残りたいと考えているという情報もあります。農家に就くという選択肢を叶えられるような基盤整備も大切です。現代の若者は「自分らしさ」を大切にする世代という傾向も見られます。農業が魅力ある職業となるようなアプローチが必要だと感じます。

● 佐藤啓一さん

今後の経営などについては、将来的な構想はイメージしている部分もあります。農業は自ら計画をたて、人手を確保し、販売までつなげる必要がある職業だと思っています。視野を広くし、消費者の考え、社会を知った中で選んでもらえる、魅力ある職業となることが理想的だと思います。

● 佐藤組合長

今後の農家は様々な分野とのつながりも大切になってくるのではないのでしょうか。デジタルも活用し発信も必要だと思います。農業の魅力について家庭でも、外に向けても広げることが将来の明るさにつながると思います。



10年後、理想的な農業情勢について

● 佐藤組合長

管内の農業のあり方も農協が発信することも大切だと思いました。経営継承への支援や離農世帯への就農者掘り起こしも含め、農家戸数の確保を考えていきたい。農家戸数が少なくなっていることによる苦勞はどう感じますか。

● 日下部愛美さん

将来的に集落に数人しか農業者がいない状況が想定されます。水稲を中心として面積を管理する苦勞が心配です。個別の作業でも、草刈、水管理を含め、人手の必要な播種作業などは、他者の協力にも期待したいところです。

● 日下部耕平さん

現状集落内では担い手が確保できていますが、今後を考えると不安は大きいです。

● 佐藤啓一さん

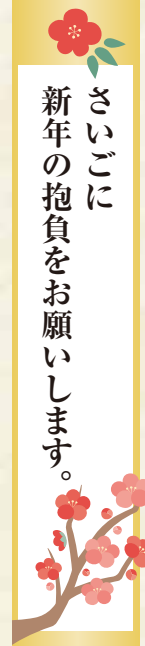
離農した方から草刈や堰掘りなど協力いただき助かっています。

● 佐藤組合長

多面的機能支払交付金などを活用した環境整備は農業者だけでなく地域からの協力や話し合いが不可欠だと思います。

● 日下部耕平さん

集落営農の形、一法人が規模拡大する形、JAの子会社拡大する形等が考えられますが、迫った課題と思います。



さいごに 新年の抱負をお願いします。

● 日下部耕平さん

令和7年は、ブランド米振興会から2名がおいしい米コンテスト決勝大会に選ばれるなど、喜ばしい年となりました。今年はさらに磨きをかけ、上位入賞を志したいと思います。また、会長として新品種「ゆきまんでん」の試験圃を任せていただき予定です。「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」とともに未来につながる大切な米づくりを着実にこなしていきたいと思っています。

● 佐藤啓一さん

CE施設については、修繕の必要性が増えていますが、利用組合の皆さんに気持ちよく使ってもらえるような環境づくり、安全作業の関係づくりなどに努めていきたいと思っています。また、赤かぶについて、令和7年産の試行錯誤を生かして収穫の機械化・一元化を行いたいと思っています。

● 日下部愛美さん

最終的な目標としては規模拡大・設備投資を計画的に整えながら、丁寧な圃場管理に努めていきたいと思っています。また、女性農業者の立場から、女性でも農業機械に乗り、家庭との両立も可能なので女性農業者が増えてほしいと思います。

● 佐藤組合長

米の話題に事欠かない一年でした。今回の座談会も含め、今後も生産者からの情報発信ができればと思います。

第19回 あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町



庄内農高の「つや姫」が高校生部門最優秀金賞を受賞。当JA管内からは阿部勝吉さん(廿六木)の「ひとめぼれ」、工藤豊章さん(長畑)の「プレミアムつや姫」がメジャー部門220点の中から決勝大会に進出しました。

最優秀金賞の結果

高校生部門

庄内農業高等学校(山形県)
「つや姫」

メジャー部門

金子和徳さん(山形県)
「つや姫」

ネクスト部門

中山北斗さん(熊本県)
「ぴかまる」

プレミアム部門

曾我博男さん(岐阜県)
「いのちの壺」

座談会参加者プロフィール

氏名	ブランド米振興会長 日下部 耕平	カントリ利用組合長 佐藤 啓一	女性農業者 日下部 愛美
マイブーム (趣味)	道の駅めぐり	サッカー観戦	特にないので 老後まで探す
元気のもと	ラーメン	我が家の猫	家族との会話
今年挑戦 したいこと	作業の効率化	あつみかぶ 生育の均一化	やりたい事が あったらその都度 挑戦したい



12月13日より生活館で受賞米を数量限定販売しました。
第19回 米コンテストで優良金賞を受賞
●阿部勝吉さん(廿六木)の「ひとめぼれ」
●工藤豊章さん(長畑)の「プレミアムつや姫」

第37回 森屋翁顕彰祭～森屋多郎左工門翁の功績を称える～

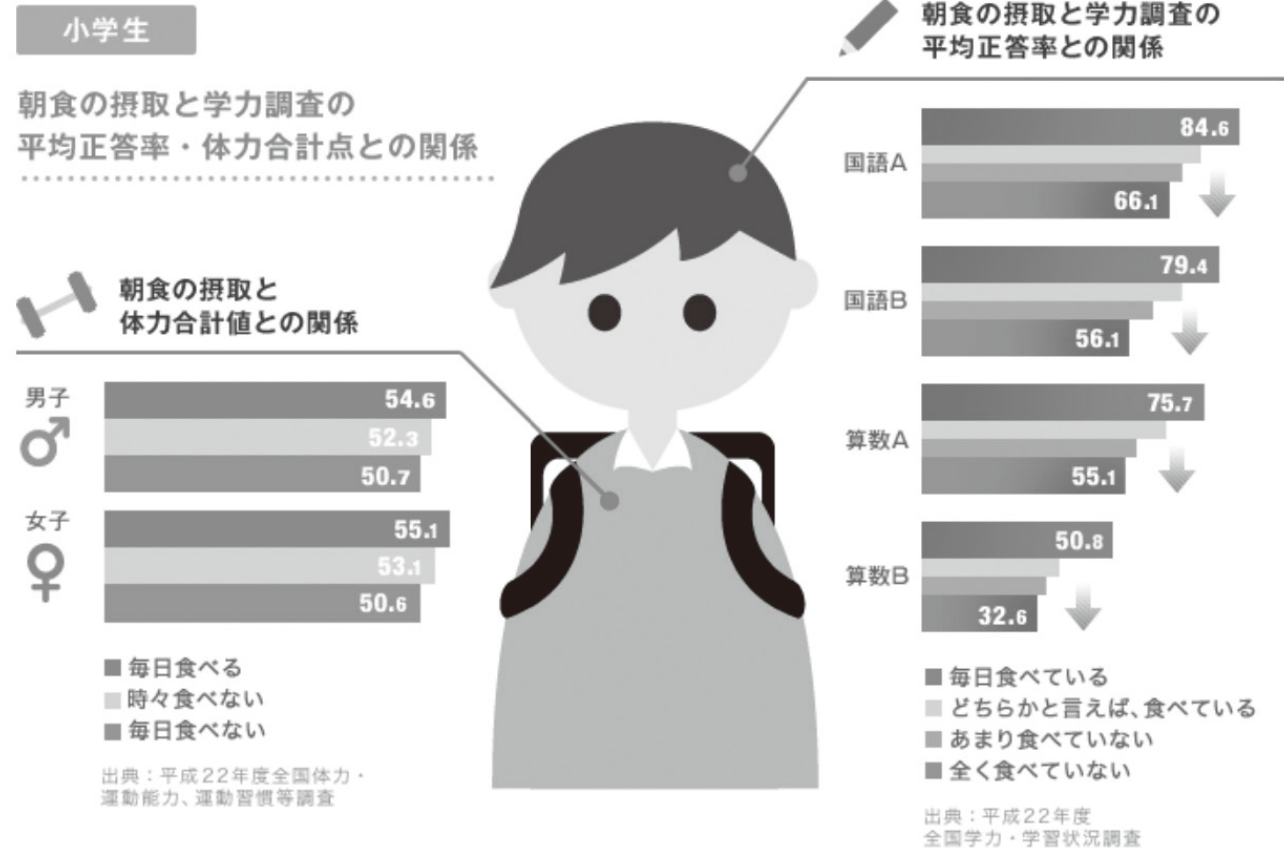


神前に神を奉納する森屋前組合長

11月26日、廿六木集落公民館において、庄内町長、農業関係者および集落関係者ら24名の出席で森屋翁顕彰祭の祈禱が執り行われました。

「森多早生」の創選により日本の米づくりが活性化されました。その功績を称え、平成元年に顕徳憲章碑が建立されてから37回目。顕彰祭主催者の富樫透町長は「森屋翁の功績を地元の誇りとして伝えていきたい」とあいさつしました。

朝ごはんをしっかり食べよう!



文部科学省ホームページによると、朝ごはんを食べない小学生の割合はおおよそ1割。社会人の割合は2割以上。朝ごはんを食べたほうが学力調査の結果も体力も良い結果の統計となっています。

朝ごはんをきちんと食べて、脳を生き生きとさせ、やる気や集中力を高めることは、学生のみならず、大人にとっても大切なことです。そして朝ごはんには、ご飯食がオススメ。噛むことにより脳を目覚めさせ、ゆっくり消化・吸収がすすむため、なだらかに血糖値を上げ、長時間維持します。

新年を迎えます。朝ごはんを食べるなど、改めて良い食習慣を考える機会としてはいかがでしょうか。

出典：文部科学省ウェブサイト (https://www.mext.go.jp/syokuiku/what/meal01_01.html)

農林水産省ウェブサイト (<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kakou/mezamasai/about/about.html>)

「森多早生」の特別授業を開催 三小児童に



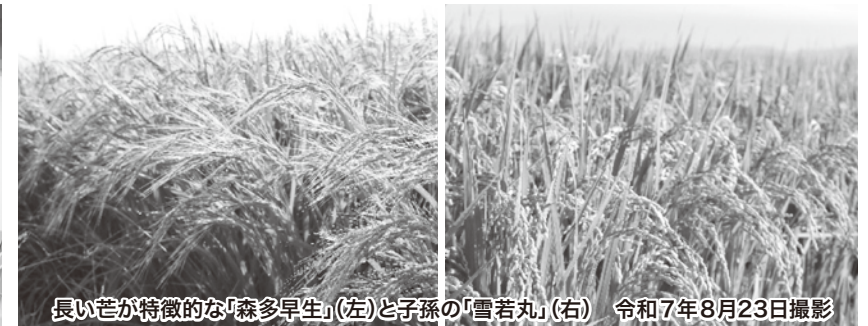
11月10日、「森多早生」を創選した森屋多郎左エ門の子孫・森屋要二さんが余目第三小学校で5年生32人に向け「森多早生」の特別授業を行いました。

「森多早生」は「つや姫」「雪若丸」などの祖先。現代はDNAマーカーによる育種などで品種改良がおこなわれていますが、昔は田んぼでの「眼力」による選別から始まりました。森屋さんは、先人の努力と工夫が現代につながっていることを伝えました。

2027年デビュー予定の「ゆきまんでん」は「雪若丸」の子にあたり、血統を引き継ぎます。



「森多早生」の稲穂を持ち説明する森屋さん



長い芒が特徴的な「森多早生」(左)と子孫の「雪若丸」(右) 令和7年8月23日撮影

余目三小 お米づくり体験 収穫感謝の会

11月28日、余目第三小学校5年生は収穫感謝の会を開催しました。一年間米づくり体験と学習を重ね、児童自身が整理したスライドで学習発表がされました。

その後、稲作の先生を務めた森屋さん、中間管理を行った結米屋、連絡調整を行ったJAに対し、感謝のメッセージを綴った冊子をプレゼントしました。

JAからは、一年間の米づくりをまとめ「朝ごはん」をテーマにした動画を作成し、披露しました。



④生徒から感謝のメッセージを綴った冊子を受け取ったあと、「稲作じいさん」森屋さんから一言メッセージ。「生きることは食べること。農業・漁業・林業の大切さをこれからも感じてほしい」と児童の皆さんに伝えました。⑤5年生の児童自身が学び、整理した内容の発表。緊張しながらも、一生懸命な姿が見られました。

余目三小のお米を町内の学校給食に



茶碗に山盛りにしたごはんをほおぼる5年生。三小米、大好評でした。

12月10日、余目三小の5年生が育てた三小米「はえぬき」180kgが学校給食に提供され、町内の全小中学校6校1400食が用意されました。

町内の学校給食のおたよりや三小の校内放送で「泥だらけになりながら田植えをし、誰かが転びそうになれば手を差し伸べてくれる友達とともに作ったお米。お互いを助け合いながら、地域のひとと5年生が愛情を込めて作ったお米を食べてほしい」とメッセージを発信しました。

理事会だより

《附議事項》

- (1) 11月末事業状況について
- (2) 2025上半期ディスクロージャー誌の開示(案)について
- (3) 准組合員の加入資格(案)について
- (4) 大口貸付の承認について(案)
- (5) 宅地等供給事業実施規程の一部変更(案)について
- (6) 宅地等供給事業実施要領の設定(案)について

《報告事項》

- (1) 組合員の加入脱退について
- (2) 各種委員会(農業委員会・庄内町等)の報告事項について
- (3) 介護予防事業報告書について
- (4) 令和8年 新年互礼会について
- (5) 年末年始の業務対応について
- (6) 資産査定結果(仮基準日)について



●11月末の実績●

		実 績	計画比	前年比
正 組 合 員		912 名		99%
販 取 売 扱 品 高	農 産 物	978,127 千円	130.3%	183%
	畜 産 物	241,143 千円	114.1%	105%
	計	1,219,270 千円	126.8%	160%
購 取 買 扱 品 高	農 産	278,393 千円	128.5%	111%
	畜 産	41,873 千円	113.1%	110%
	店 舗	576,657 千円	113.7%	110%
	農機自然	414,818 千円	128.3%	97%
	計	1,311,741 千円	121.0%	105%
加 工 事 業		271,063 千円	98.0%	96%
貯 金 高		13,398,869 千円	112.1%	110%
貸 出 金		2,955,143 千円	96.9%	114%
長 期 共 済(保障)		2,041,300 千円	151.2%	150%

入っていますが？ うちの保障

- 」JA共済から「建物更生共済」で
- 火災・落雷・自然災害等に充実保障
 - 建物・家財それぞれに安心の保障

ご加入も 共済金請求も
当JA担当者がお手続きをサポート！！
保障点検承ります

建物更生共済
むてぎプラス

建物更生共済
My家財プラス

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、
「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)および「ご契約
のしおり・約款」により必ずご確認ください。

落雷にも確実な備えを！

JA共済

お問合せは JAあまるめ共済係 (45-1502)へ 登録番号 25066190013



12/11ねぎ部会総括会を開催。
春先の低温・多雨・日照不足、夏の渇水と恒常化する異常気象により
園芸特産物には厳しい天候の一年となりました。秋になり、徐々に
回復した令和7年。「先輩方の知恵と若い力で良いねぎづくりと良い
仲間づくりを続けていきたい」と森屋部会長のお言葉でした。



当JA資材館が全農主催の「JA資材店舗CS甲子園2025」で
ラウンドアップ賞を受賞しました！
ご利用いただきやすい店舗づくりに、これからも努めてまいります。

第2回 ごはんフェス in 風車市場

11月29日、道の駅しやうない「風車市場」
で『おかわり大歓迎！ごはんフェス2025』
が開催されました。米コンテストのサテライ
トイベントの位
置付けです。
来場者は「つ
や姫」「ゆめぴり
か」「ゆうだい
21」「いのちの苧」
の4品種のごは
んと、ごはんお
供食べくらべを
楽しみました。



当JAも協賛しごはんのお供「しそ巻き」を
提供しました。



米コンテストの予選審査員も行ったという三川町から参加した親子。
お米4品種の食べくらべを楽しみました。

女性部 農協との意見交換会

11月28日、生活セン
ター小会議室で女性部と
農協の意見交換会を開催
し、女性部員10名が参加
しました。
女性部員よりいただいた
アンケートを元に意見
交換し、女性ならではの
視点で様々な意見が出さ
れました。また、惣菜加
工室で製造した新商品の
試食会も行いました。



惣菜加工室で製造した「ローストビーフ」「豚肉の唐揚げ」
を試食しました。「家庭では簡単に作れないのでぜひ買
いたい」「肉がとても柔らかくておいしい」と好評でした。



第18次総会3カ年計画策定



11/28 第18次3カ年計画策定委員会を開催
主要団体役員・生産組合長、役職員が参加し、向こう3カ年の計画内容
を協議しました。

営農に関する合同協議会



11/18 農協役員、営農・防除委員、JAあまるめブランド米振興会委員合同協議会
令和7年産の総括と令和8年産に向けた計画を協議しました。

JAあまるめ広報・LINE連動企画!!

おめでとう!「でわのもち」生誕60年! 餅アンケートプレゼント企画!!

広報ほのか応募用紙より応募していただいた方から
抽選で10名様に生活館商品券をプレゼント!

でわのもち 生誕60年

アンケートに答えて
商品券が当たる!!
好きな食べ方は?

お雑煮、あんこ餅、きなこ餅など、
皆さんの好きなお餅の食べ方、
教えてください!

理由などもぜひご記入ください!

ご記入いただいたご意見は広報ほのか2月号・
SNSなどで特集させていただく予定です。

あまるめ産「特別栽培米でわのもち」100%使用

- しっかりとした嚼め心地
- おいしさを際立たせる特製あんこ
- 個包装はつきたて長持ち
- 米粒から作って
- 添加物一切不使用

餅はやっぱりあまるめのお餅

応募期間：令和7年12月25日～令和8年1月15日

JAバンクからのお知らせ

ATMなどのサービスを一時休止させていただきます。

休 止 日		休止時間
2026年 1月	11日(日)	終 日
	12日(月・祝)	終 日
	17日(土)	21:00～24:00
	18日(日)	0:00～8:00

休止するサービス

- JAバンクのATM
- 他金融機関・コンビニなど提携ATM
- JAネットバンクサービス
- ジェイデビット

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【介護予防施設 しゃんしゃん】

元気でいきいきとした毎日のために

曜日	午前	午後
月曜日	健康体操	ものづくり(クラフト)
火曜日	健康体操	健康マージャン
水曜日	健康体操	いきいき100歳体操
木曜日	健康体操	木曜しゃんしゃん塾
金曜日	健康体操	しゃんしゃん工房(クラフト等)

※木曜しゃんしゃん塾の内容は、お問合せください。

利用料は半日200円です。

※木曜しゃんしゃん塾「みんなでクッキング」は500円

【午前の部】受付 9:00～
【午後の部】受付13:00～

体を動かしたり、頭や手を使い、健康寿命を延ばす活動をしております。活動後の茶話会も皆さん楽しんでいただけます。ぜひ、介護予防にご利用ください。

お問合せは企画管理部45-1500へ

まちがいがし

12月号当選者・正解

富樫 美和さん(興 野) おめでとうございました。
阿部 悠希さん(長 畑) おめでとうございました。
太田 由作さん(廿六木) おめでとうございました。
佐藤 結斗さん(廿六木) おめでとうございました。
日下部徳子さん(横 島) おめでとうございました。
日下部常子さん(横 島) おめでとうございました。
渡会 ゆみさん(千河原) おめでとうございました。
真田 貞子さん(平 岡) おめでとうございました。
菅原 国昭さん(上堀野) おめでとうございました。
佐藤 長輔さん(上堀野) おめでとうございました。

抽選の結果10名の方が当選されました。
おめでとうございます。

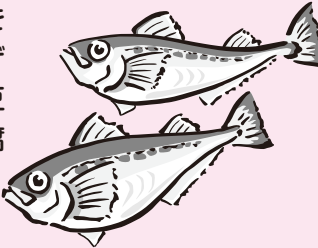


答え

2……しめ飾りの房が短い
4……窓に装飾が付いている
5……看板の屋根部分の形が違う
11……紙袋の文字が違う
12……バッグの形が違う

●餅アンケートに答えて商品ゲットしよう!
応募締切は令和8年1月15日まで
応募箱は生活館入口脇に設置しています。

身近な話題や「ほのか」の感想をお寄せいただきました。




◎スーパーから大きいハタハタを買って、田楽して大黒様に上げました。黒豆煮、なます、黒豆ごはん、ハリハリ漬、焼き豆腐田楽もつくりました。
(80代・女性)

◎大黒様は、家内安全、無病息災、豊年の感謝礼などを祈る行事。行事食は季節や伝統を感じることができますね。寒い季節になっていますが、“まめ”に過ごしていきます。

◎炊きたての新米は、最高に美味しいです。(60代・女性)

◎11月号でお知らせした新米アンケートでは、シンプルにお米の味を楽しむ皆さんのアンケート結果でした。
おいしいお米の味を思い思いの食べ方で楽しんでほしいと思います。



皆様からのご感想を楽しみにしながら編集しております。
ぜひ、クイズ応募と併せてご意見ご要望ください。

木曜しゃんしゃん塾より～今日の一品いかがですか～

【どろふわ餅フレンチトーストの作り方】



冷めてもどろふわ!

令和7年12月11日の「みんなでクッキング」で実際に調理したものです。

【材料(1人分)】

切り餅…2切れ 卵 ……1個
砂糖 ……大さじ1 バター ……大さじ1/2
牛乳 ……60～70cc トッピング…お好みで

【作り方】

- ① 耐熱ボウルに4等分にカットした切り餅、砂糖、牛乳を入れる。
- ② レンジ600wで3分半～4分加熱して餅を柔らかくする。
- ③ ゴムベラなどを使って餅と牛乳を混ぜてしっかり馴染ませる。
※多少、餅の粒が残っていても、焼くので大丈夫。
- ④ 溶き卵を加えて、全体に馴染むまで、ゴムベラでよく混ぜる。
- ⑤ 卵焼き器(又はフライパン)を火にかけてバターを溶かし、生地を流し入れる。弱火で蓋をして焼く。
※卵焼き器の場合は、アルミホイルを使って蓋をする。
- ⑥ ふっくらと膨らんでこんがり焼き色が付いたら、フライ返しで半分に折りたたんで出来上がり。
※お好みでトッピングしてもOK。

【コツ・ポイント】

- ・お餅が膨らむので、レンジにかけるときは、少し大きめの耐熱ボウル(容器)を使用する事。
- ・卵焼き器にアルミホイルで蓋をする時は、はみ出すと焦げたりするので、丁度よい大きさに折りたたんで使用する事。

1月の「みんなでクッキング」は 1月15日、29日です。お申込みは企画管理部 45-1500へ